

事務事業	7001	県・糟屋宗像地区連絡協議会参画事業	担当課	税務課	担当係	町民税係
------	------	-------------------	-----	-----	-----	------

計後 画期 体計 系画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	530	健全な財政運営を行う		款	2	総務費
					項	4	徴税费
					目	1	税務総務費

法令根拠条例等		個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	S38 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 香椎税務署と管内地方自治体との連絡を密にし、税務行政の運営上相互に協力すべき事項について、その実施方法を協議し、税務事務運営の円滑な推進を図る。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 定例会は年1回開催。臨時会や研修会は必要に応じて開催される。定例会や臨時会には担当課長が出席。状況により係長や担当者も出席。		主 な 事 業 費 の 内 訳	県税務協議会負担金 36 千円
			千円
			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 特別徴収の実施促進取組・反省会等
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 税務課職員
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 税務課職員の課税事務の充実と向上を図る。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 開催数	回	3	2	2 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 対象税務課職員数	人	17	17	17 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位		28年度	29年度	30年度
ア 参加者数	人	目標	7	8	7
		実績	5	4	
イ 参加回数	回	目標	4	4	3
		実績	3	2	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	36	36	36	36		
		合計(A)	36	36	36	36	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	606	760	749	803		
	トータルコスト(A)+(B)	642	796	785	839	0	0	

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記)
昭和38年頃税務事務運営の円滑化を目的に開始。	昭和38年頃税務事務運営の円滑化を目的に開始、会議出席者など柔軟な対応が出来るよう変わってきた。	特になし

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	28年度に福岡県下特別徴収一斉指定通知を事業所に送付した。 今後の取り組みとして特別徴収一斉指定を拒否した事業所に対して、特別徴収を実施するよう県・近隣市町と対応を協議する必要があります。 また、特別徴収に指定することにより町県民税の徴収率が上がると期待している。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	近隣市町のいいところを取り入れたり、職員の能力向上により更なる収納率向上や課税事務につながっているため。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？ (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	参加することにより、収納率向上に寄与している。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	今後より良い施策や手段が生まれている可能性があるから。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	近隣市町との連携がとりにくくなり、収納率や業務向上が停滞する恐れがある。また、職員の能力向上が遅れる可能性が高い。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	すでに広域連携しており、他者へ委託することができない。

### (2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

29年度より開始された福岡県下特別徴収一斉指定に向け、県や近隣市町と協議・反省をし、今後の業務につなげることができた。

## 3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	町が主体となっているだけでなく、他市町村との協議会として参加しており、今後、事業としての目的であるか検討していく必要がある。また有効性については、今後より良い施策や手段が生まれてくる可能性があり、向上の余地がある。